

みずほCustomer Desk Report 2017/04/25号(As of 2017/04/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.92 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.03	1.0874	119.62	0.9930	1.2827	0.7556
SYD-NY High	110.64	1.0940	120.93	0.9980	1.2910	0.7600
SYD-NY Low	109.67	1.0821	118.93	0.9850	1.2772	0.7539
NY 5:00 PM	109.76	1.0867	119.26	0.9960	1.2796	0.7570
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.55/8.98		△25RR	1.115	Yen Call Over	
NY DOW	20,763.89	216.13	債券市場			
NASDAQ	5,983.82	73.30	日本2年債	-0.2130	0.7bp	
S&P	2,374.15	25.46	日本10年債	0.0220	0.6bp	
日経平均	18,875.88	255.13	米国2年債	1.2294	4.9bp	
TOPIX	1,503.19	14.61	米国5年債	1.8017	3.1bp	
シカゴ日経先物	18,900	250.00	米国10年債	2.2730	2.5bp	
ロンドンFT	7,264.68	150.13	独10年債	0.3290	7.6bp	
DAX	12,454.98	406.41	英10年債	1.0510	1.7bp	
ハンセン指数	24,139.48	97.46	豪10年債	2.5950	5.7bp	
上海総合	3,129.53	▲43.62	為替市況	USD/CNH	6.8838	▲0.0054
USDJPY 3M Vol	8.80	▲1.03%	ドルインデックス	ドルインデックス	99.09	▲0.89
USDJPY 6M Vol	9.06	▲0.60%	商品市況	CRB指数	180.932	▲0.94
EURJPY 3M Vol	8.87	▲4.08%		NY金	1,277.50	▲11.60
EURJPY 6M Vol	9.00	▲2.44%		WTI	49.23	▲0.39
				Dubai Spot	51.01	▲0.40

【昨日の指標等】

Date	Time	独	米	Event	結果	予想
4月24日	17:00	独		IFO景況感/期待/現況指数	4月 112.9/105.2/121.1	112.4/105.9/119.2
4月25日	00:30	米		カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-

【本日の予定】

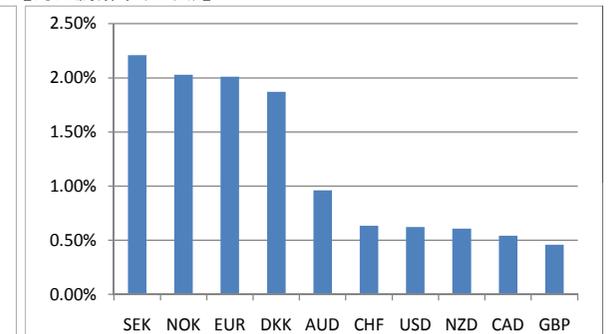
Date	Time	米	米	Event	予想	前回
4月25日	23:00	米		新築住宅販売件数	3月 584K	592K
	23:00	米		消費者信頼感	4月 122.5	125.6

東京	23日に実施された仏大統領選挙第一回投票の出口調査において、事前予想通りマクロ候補とルベン候補が決選投票に進出する見込みであることが伝わるとリスクオフモードが後退。ドル円はオセアニア時間に110円前半でギャップアップしてオープンすると、一時110.64まで上昇。その後はじり安推移となり、110.03レベルで東京時間オープン。日経平均株価が前営業日比200円超高で寄り付いたものの、ドル円の反応は鈍く110.00を挟んでのもみ合い推移となった。安倍首相がトランプ米大統領と北朝鮮情勢について電話会談したことが伝わったが、相場への反応は限定的。110円前半での狭いレンジ内での推移が続いた後、終盤にかけて小幅に上昇する展開となり110.11レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.11レベルでオープン。仏大統領選挙第一回投票の最終結果が発表され、事前の世論調査と同様の結果となったことがわかると、次回決選投票でもマクロ候補が有利である公算が高まり、仏株はオープンから4%上昇。ドル円は一時110.31まで上昇するも、その後は伸び悩み110.21レベルでNYに渡った。ユーロはオープン前に昨年11月以来の水準となる1.0930台まで上昇したが、その後は値を下げ、1.0852レベルでオープン。方向感に欠ける推移となる中で1.08台後半まで上昇する局面もあったものの、その後は反落し1.0842レベルでNYに渡った。(ロンドン 17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.21レベルでオープン。仏大統領選挙後のリスクオフモードの後退から欧州株が大幅で引け、米株も高く寄り付いたことから序盤は110円前半で底堅く推移。しかし、その後は先週の流れを引き継ぎ米原油生産過剰の懸念からWTI原油が一段と下落する動きに米長期金利も低下基調となりドル円は110円を割り込み109.71まで下落。米株の堅調推移を背景にこの水準では下げ渋るが、110円台回復には至らず。その後は朝鮮人民軍創設85年に当たる25日を前に地政学的リスクも意識される中、安倍 109.67まで下落し、109.76レベルでクロスした。一方ユーロは海外時間に1.0940まで急伸し、1.0842レベルでNYオープン。仏大統領選挙におけるマクロ候補勝利の期待が高まる中、1.0850を挟んでの底堅い推移が続いたが、年初来高値となる水準では積極的に上値を追って展開とはならず、1.0867レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.30-110.10	1.0840-1.0900	119.00-119.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル/円相場は「上値の重い展開」となった。23日実施の仏大統領選挙の第1回投票の結果を受けて欧州政治リスクが後退。ただ、米長期金利の上昇が一服となったことから日米金利差拡大との観測が後退したことからドル売り優勢の展開となった。本日は「(引き続き)上値の重い展開」を予想。目立った景気指標の発表は特段ないものの、引き続き北朝鮮情勢が意識される中、投資家の積極的な買いは手控えられよう。引き続き上値の重い展開が続くと予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・森谷